

令和4年度
事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

公益財団法人 北海道防犯協会連合会

令和4年度事業報告

第1 公益目的事業

1 地域安全活動の推進

(1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

道民の防犯意識の高揚を図るため、警察及び自治体、関係機関・団体等と連携して各季の地域安全運動を情勢に応じて実施したほか、「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」と協働しながら、「安全・安心どさんこ運動」の普及促進を図るなど、各地区の防犯協会等が道民と一体となって、「犯罪の起きにくい社会づくり」を推進した。

ア 地域安全運動の実施

○ 春の地域安全運動

5月11日（水）から同月20日（金）までの10日間実施した春の地域安全運動は、子供と女性の犯罪被害防止と特殊詐欺の被害防止、地域の情勢に即した犯罪被害防止を運動重点として実施した。運動初日には、「『安全安心な地域づくり』道民の集い」を共催し、栗山英樹監督の特殊詐欺撲滅メッセージや守山正拓殖大学名誉教授のオンラインによる基調講演「特殊詐欺の構造～新しい視点で考える」などを実施した。

各方面・地区防犯協会には、運動重点のほか自転車盗の発生も懸念されることから、警察や防犯ボランティア、関係機関・団体と連携した防犯活動の推進を依頼した。

○ 全国地域安全運動

10月11日（火）から同月20日（木）までの10日間、特殊詐欺の被害防止、子供と女性の犯罪被害防止、地域の情勢に即した犯罪の被害防止を運動重点として実施した。

運動初日には、「『安全安心なまちづくりの日』道民の集い」を共催し、

「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞」受賞4団体の表彰や「体と心の健康で安心なくらし」と題する基調講演などを行った。

○ 歳末地域安全運動

12月15日（木）から同月31日（土）まで、特殊詐欺被害防止活動と子供・女性の犯罪被害防止活動の推進を運動重点として実施を依頼した。

運動初日には、薄野交番勤務員を激励し、防犯ボランティアとともに薄野歓楽街の防犯パトロールを実施した。

イ 広報啓発活動資料の作成配付

- 春の地域安全運動のため、広報啓発用ポケットティッシュ2種類（特殊詐欺被害防止、女性子供の犯罪被害防止）合計11万個を制作して配付した。
- 全国地域安全運動の広報啓発用ポスター1,070枚、広報啓発チラシ1万850枚を全国防犯協会連合会から購入して配付した。
- 全国地域安全運動の広報啓発のため、だまし絵を活用し、「特殊詐欺を見抜けますか？」と題した中刷りポスター4,000枚を作成して配付した。
- 全国地域安全運動に合わせて、道警公式防犯アプリ「ほくとポリス」周知のため、広報用チラシ1万5,000枚を作成して配布した。
- 歳末地域安全運動の広報啓発用使い捨てカイロ5,500個を制作配付した。
- 防犯カレンダー1,570部を全国防犯協会連合会から購入して配付した。
- 全国防犯協会連合会が配付した広報啓発冊子「最新！サイバー犯罪撃退BOOK」、「特殊詐欺犯罪 決まり手10」や映画会社と提携した防犯ポスター「みんなでつくろう安心の街 あなたの手で脅威から身を守るためには？」を配付した。
- サイバー犯罪対策用広報啓発のため、レバンガ北海道4選手による「インターネットセキュリティ対策強化」及び札幌デザイナー学院生が制作した「インターネットショッピングサギ注意」の広報啓発用ポスター各4,000枚、計8,000枚を作成して配付した。

- カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」による特殊詐欺撲滅ビデオメッセージを制作し、道警察のホームページ等を活用して放映した。
- 当連合会機関紙「道防連だより」を年4回（4月・7月5,000部、11月・1月4,000部）発行した。
- 全国防犯協会連合会広報誌「安心な街に」2,520部を全国防犯協会連合会から購入して配付した。
- 当連合会のホームページの「地区防犯協会の活動」や「賛助会員」の欄を更新するとともに、新たに自転車防犯登録の確実な実施と賛助会員への加入依頼に関するメッセージを掲載した。
- ソフトバンクの「つながる募金」に登録し、広く防犯活動に対する財政支援が得られるよう基盤強化を図った。

(2) 協働連携事業

ア 方面・地区防犯協会等の防犯活動に対する協力支援の実施等

- 方面・地区防犯協会に対する協力支援事業等への積極支援
各方面及び地区防犯協会と協働・連携して行う各季の地域安全運動を始めとする防犯活動に関する協力支援事業を積極的に推進するとともに、事業経費の一部を助成するなど積極的な支援を行った。
- 関係機関・団体等との協働活動の推進
道警察、関係機関・団体及び地域住民等との協働による各種犯罪の防止に向けた地域安全活動を推進し、住民が不安を感じ道警察が重点犯罪としている子供・女性を対象とした犯罪被害防止と特殊詐欺被害防止に志向した街頭啓発活動や防犯パトロール、高齢者宅訪問防犯活動等を推進した。

イ 防犯ボランティア団体等の活動の促進

- 防犯ボランティア団体の現状
令和4年末における道内の防犯ボランティア団体暫定数は、1,329団体

(前年対比－18団体)であり、各方面及び地区防犯協会を通じて各種情報を提供し、防犯ボランティア団体の拡充と活動の活性化を図った。

○ 次世代を担う学生防犯ボランティア育成のための継続管理支援事業

道警察との協働により、将来、地域の防犯ボランティアを担う人材の育成を図るため、昨年度からの継続登録者421名を始め、大学生等の学生を対象に防犯ボランティア活動に関する講習会を道内各地で18回開催し、受講した229名のうち228名を新たに「学生防犯ボランティア」として登録管理し、地域の防犯ボランティア活動に関する情報を提供するなどの支援を行い、防犯ボランティアの育成を図った。

○ ボランティアリーダー養成講座の開催

11月17日、道警察と協働して、地域において中核となって自主防犯活動を行っている防犯ボランティア15名を対象に、新型コロナウイルス感染防止のためリモート形式により開催し、防犯活動を推進するリーダーとなるべき人材の育成を図った。

○ 子どもの安全を見守る運動と青色回転灯装備車両の普及促進

- ・ 令和4年末における道内の青色回転灯を装備した自主防犯パトロール車の暫定台数は2,949台(前年比－83台)で、各地で通学路における防犯パトロールを行い、子どもの安全を見守る活動などを展開した。
- ・ 日本宝くじ協会が行う「青色回転灯装備車整備事業」により受贈した青色回転灯付パトロール車1台を岩見沢地区防犯協会の月形防犯協会に配置した。

ウ 少年の非行防止と健全育成

○ 少年の居場所づくり事業の協働開催

道警察や道少年補導員連絡協議会と協働で実施の「少年の居場所づくり

（JUMPプラン）事業」及び各方面防犯協会連合会、道警察各方面本部等と協働で実施の「方面JUMPプラン事業」に支援を行い、少年の規範意識の醸成と健全育成を図った。

令和4年度における実施回数は19回、参加人員は60名で、活動別の内訳は次のとおりである。

・社会参加活動	3回実施	5名参加
・農業体験活動	10回実施	38名参加
・学習支援活動	5回実施	10名参加
・就労支援活動	1回実施	7名参加

○ 少年の健全育成、性被害の防止活動

道警察と連携して、札幌平岸高校デザインアートコースの生徒が制作した「SNSに潜む性犯罪被害の危険性」などの啓発動画を市内映画館や商業ビルの街頭ビジョンデジタルサイネージなど39か所で上映した。

○ 関係機関・団体等の取組みへの参画

北海道が7月に実施する「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」に発出された「北海道知事メッセージ」に協力して、各方面・地区防犯協会を通じ青少年の非行防止と被害の防止を図る取組みを推進した。

○ カラオケボックス管理者講習会の開催

北海道カラオケボックス協会と連携して実施している管理者講習会は、コロナ禍からの事業回復に伴う従業員不足によりリモート会議を含め実施できなかったことから、10月28日（金）、「最近の犯罪情勢と防犯対策」などの教養資料を会員や管理者172か所に送付し、安全で安心な営業気運の醸成と防犯意識の高揚を図った。

○ 全国地域安全運動等ポスター・標語への応募

全国防犯協会連合会が行う「全国地域安全運動等に向けたポスター・標語の募集事業」の実施に共催し、各地区防犯協会を通じて道内の小・中・高等学校等に働きかけを行い、青少年の規範意識の高揚を図った。

募集の結果、青色回転灯装備車の活動写真3点の応募があった。

エ 薬物乱用防止活動

全道の小学校、中学校、高等学校で開催の薬物乱用防止教室などで使用する資料として配付した全国防犯協会連合会の広報啓発冊子「薬物乱用防止ガイド」を活用し、青少年の薬物乱用防止意識の醸成を図り、北海道薬物乱用防止指導員連絡協議会の活動を支援した。

(3) 防犯功労者等表彰

ア 北海道防犯協会連合会の表彰

各方面防犯協会（団体）連合会から推薦のあった表彰候補者の中から、防犯功労者60名、防犯功労ボランティア団体14団体を選考し、理事長と北海道警察本部長との連名により表彰した。

表彰状の伝達については、受賞者の便宜を考慮し、地域住民の一層の自主防犯意識の高揚を図るため、各地区防犯協会において警察署長と協議・連携して伝達することを依頼した。

イ 全国防犯協会連合会の表彰

全国防犯協会連合会が行う防犯功労者等表彰の表彰候補者・団体を選考・推薦した結果、防犯功労者27名（防犯栄誉金章3名、防犯栄誉銀章6名、防犯栄誉銅章18名）及び防犯功労団体1団体、功労ボランティア団体2団体が受賞し、9月29日に開催された全国地域安全運動中央大会での表彰式には、金章受賞者1名が参加した。

2 自転車防犯登録事業

(1) 自転車防犯登録指定店に対する指導

自転車の防犯登録に係る業務を行う者として、指定した自転車販売店である「自転車防犯登録所」に対し、半期ごとに登録カードの在庫状況の報告を求めて取扱状況を確認するなど自転車防犯登録カード等の保管管理の徹底を図り的確な登録事務の推進について指導した。

(2) 防犯診断等の実施

各地区防犯協会において警察署等と連携し、自転車防犯登録診断カード（11万枚制作）を活用した駐輪場等における防犯診断のほか、「自転車防犯登録とツーロック」の広報啓発用ポスター（2,000枚）を制作して配付し、自転車防犯登録の促進と盗難被害防止の啓発を行った。

(3) 自転車防犯登録取扱台数

令和4年度の自転車防犯登録取扱台数は9万3,998台（前年度比－1万6,648台）であった。

3 防犯モデルマンション認証事業

令和4年度末で76棟を「防犯モデルマンション」として認証している。

第2 その他事業（北海道公安委員会からの受託事業）

1 風俗営業管理者講習の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等に基づき北海道公安委員会から委託を受け、風俗営業管理者を対象とした講習会を道内各地で35回開催し、621名が受講した。

2 風俗営業の新規許可申請等に伴う現地調査の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等に基づき北海道公安委員会から委託を受け、風俗営業の新規許可申請等に係る営業所の構造設備、営業制限地域

に関する調査を行う調査員を令和4年4月1日付で64名委嘱し、風俗営業の新規許可134件、構造設備変更8件の現地調査を実施した。

第3 会議等

1 北海道防犯協会連合会関係

- ・通常理事会～第1回：令和4年5月12日
第2回：令和5年3月9日
- ・臨時理事会～令和4年6月16日
- ・定時評議員会～令和4年6月16日

2 全国防犯協会連合会関係

- ・都道府県防犯協会専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者研修会～令和4年7月21日